

めあて

絵と文章を照らし合わせながら、筆者のものの見方を読み取り、評価が表れている言葉を整理しよう。

一 『鳥獣戯画』を読み、「読む」を読み、筆者のものの見方を大まかにとらえよう。

絵		書いている場所		形式段落と教材文の書き出し	
全体		部分		部分	
	全体	③この絵は、『鳥獣人物戯画』甲巻…	①はつけよい、のこった。	筆者が着目している部分	評価を表す言葉
	部分	④どうだい、蛙が兎を投げ飛ばしたように… ⑤もう少しくわしく絵を見てみよう。 ⑥もんどりうって転がった兎の、背中や右足の線。	②墨一色、抑揚のある緑と濃淡だけ、	耳の先 いぼいぼ 骨格 手足 毛並み	のびのびとした 見事な まるでくみたい ただの空想ではない 正確に しっかりと くっと思えない
	全体	⑦絵巻の絵は、くり広げるにつれて、右から左へと時間が… ⑧この絵巻がつけられたのは、今からざっと八百五十年ほど前… ⑨十二世紀という大昔に、まるで漫画やアニメのような…	蛙の足 兎の耳 蛙	なんと	

二 筆者のものの見方で気づいたことを書きましょう。

☆ 今日の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた ○できた △もう少し

2/9 時目 絵と文を照らし合わせて、筆者のものの見方を読み取ることができましたか。

◎ ○ △

3/9 時目 「評価を表す言葉」を整理して、表現の工夫を読み取ることができましたか。

◎ ○ △